学校通信
# 南小だより

令和７年５月１日（№２）
小金井市立南小学校
ＴＥＬ　042-383-1149
くじらぐも　042-385-6310
学校 HP

## 学び手中心の授業づくりを通して

校長　檀原　延和

始業式、入学式の日、満開だった校庭の桜の木も、鮮やかな緑色にすっかり衣替えをしました。

入学して４週間、１年生も少しずつ小学校生活に慣れ、楽しみにしていた給食も始まりました。２年生以上も、新しいクラスでの生活が軌道にのってきました。6 年生は、1 年生のお世話をしたりクラブ活動や委員会活動でリーダーシップを発揮したり、最高学年らしい活躍をしてくれています。

さて、年度初めの保護者会には、ご多用の中、多くの方々にご参会いただき誠にありがとうございました。全体会では、学校経営方針の中心に、「今日が楽しく明日が待たれる学校」を掲げ、どの子供にとっても学校が魅力的な場所になるために、子供自身が自己決定する経験を大切にしていきたいとお伝えしました。

その取組の一環として本校では、昨年度より、「自分のよさや可能性を信じ、自立して学び続ける子どもの育成」を研究主題に“校内研究”を経営の重点に据えながら学校運営に取り組んできました。今年度から小金井市教育委員会授業改善推進校(令和 7･8 年度)に指定され、「学び手中心の授業づくり」を通してこの研究を更に充実させていく予定です。

主な研究内容の一つは、昨年度から取り組んでいる「単元内自由進度学習」です。本校では、この「単元内自由進度学習」を２教科同時進行で行っています。昨年の学校公開や、「まなびポケット」の学級通信で授業の様子をご覧になった保護者の方も多いと思います。

「単元内自由進度学習」は、私たちが子供の時に受けた授業形態とは大きく異なります。例えば、教師が算数と理科から１単元ずつ２０時間分の「学習の手引き」を作成します。子供は、「学習の手引き」を参考に、毎時間、どこでどのように学ぶか、自分に最適だと思うやり方やペースで学習を進めます。また、２つの教科を同時に進めることで自由度も２倍になり、得意、不得意や進捗状況で取組時間に軽重を付けることができます。そのため、子供のメタ認知能力の向上も期待できると言われています。

また、座席は固定せず、その日の学習目標に応じて、子供自身が、学びやすいと思う場所を選んで学習するので、集中度も増す傾向にあります。

「単元内自由進度学習」は、全ての時間で行うわけではありません。年間授業時数の１割弱の時間を想定しており、年間に２、３回実施する予定です。教科や単元によって適した単元とそうでない単元があり、教科の組み合わせ方も含め研究の対象としています。

このように「単元内自由進度学習」は、教師が子供に教える授業ではなく、準備された学習環境の中で子供自身が学ぶ授業なのです。そこで必要になるのが、教室以外のオープンスペースです。しかし、南小には、空き教室がありません。そこで４階の会議室と家庭科室、廊下などを活用して行っていく予定です。

昨年度の「単元内自由進度学習」に取り組む子供たちの様子を見てきた印象は、初めのうちは戸惑う子供もいましたが、慣れてくると「自分で分かるまで取り組めるからこのやり方がいい」「発展課題に取り組むのが楽しい」などという肯定的な声が多く聞かれるようになりました。

一方、学びのハンドルを子供に委ねるというのは、教師にとって、とても勇気のいることで、大きな意識改革を迫られます。「単元内自由進度学習」を成立させるためには、子供が自分の力で学び進めていけるように教材の準備や学習環境を整えなければならず、事前の準備に多くの時間が必要となります。さらに、今まで以上に子供の立場に立って教材研究を深めていくことが重要になります。

そこで、「単元内自由進度学習」の準備の仕方や進め方について、講師の先生を招聘して学んでいます。同じ学年の担任同士が、チームとして協力して教材研究を行うので児童理解も教材理解も深まります。

ここで一つ問題となるのが、教師の勤務時間です。これまでも教師の超過勤務が問題になってきました。しかし、子供たちによりよい学びの機会を提供することは、教師にとって働きがいに直結した大切な時間です。この時間を少しでも確保しやすくするために、今年度より生活時程を工夫し、教材研究をする時間、相談できる時間を確保できるようにしました。

簡単な道のりではありませんが、「チーム南小」として「学び手中心の授業づくり」を進めていきます。そして、子供たち、教職員、保護者、地域の方々と手を携えながら、どの子供にとっても「今日が楽しく、明日が待たれる学校」となるよう、今年度の学校経営を進めていきます。ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。